

マルチリンガル教育センター アニュアルレポート 2025

2026. 7. 14. / 作成：マルチリンガル教育センター広報委員会

(1) 全学共通教育マルチリンガル教育科目

1. 概要

マルチリンガル教育センターは、大阪大学全学共通教育において、英語をはじめとする各国語やそれに関する異文化理解についての教育を下記のように実践した。開講科目の決定、時間割の編成、教員の配置、シラバスの作成、成績管理等の業務は、センターに所属する教員で構成されたカリキュラム委員会とセンター教務係が主体となって実施した。

2. 第1外国語（英語）：表1～3

全学部生を対象に第1外国語「総合英語」科目を実施し、またオンラインでの自主学習を中心とする「実践英語（e-learning）」科目では期末試験として TOEFL ITP を実施した。

3. 第2外国語／選択外国語／グローバル理解：表1・2・4・6

各学部が独自に指定するドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、スペイン語、イタリア語の「第2外国語」科目と、それらの各言語に対応する演習「グローバル理解」科目を実施した。文学部と人間科学部の学生には英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、ギリシア語、ラテン語といった「選択外国語」科目も開講した。またドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語についてはさらなる語学の向上を望む学生向けに「第2外国語上級」も開講した。また学部新入生のうち留学生のみを対象とした「日本語」科目も実施した。

4. グローバル理解（特別外国語）：表5

全学部生を対象に、外国語学部の専任教員の担当による広東語、モンゴル語、インドネシア語、ウルドゥー語、トルコ語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ハンガリー語、デンマーク語の「グローバル理解（特別外国語）」科目を開講し、英語等のメジャーな言語に留まらない、真にグローバルな言語文化に関する教育を実施した。

5. その他の実施科目：表7～8

上記の主要科目に加えて、キャンパスライフ一貫型高度国際性涵養課目として、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語等の科目を実施した。また上記主要科目の中から再履修者専用の科目も別途実施した。

表（１）2025 年度に開講した第 1 外国語、第 2 外国語、選択外国語、グローバル理解（1 年次）表

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
1 年次	第 1 外 国 語	総合英語(Project-based English)	24	566	23.6	15	394	26.3
		総合英語(Content-based English)	19	600	31.6	25	783	31.3
		総合英語(Liberal Arts & Sciences)	77	3,521	45.7	76	3,050	40.1
		総合英語(Performance Workshop)	33	858	26.0	44	995	22.6
		総合英語(Academic Skills)	13	336	25.8	21	669	31.9
		総合英語(integrated course)Ⅰ・Ⅲ・Ⅱ・Ⅳ	32	1,276	39.9	32	1,336	41.8
		合計	198	7,157	36.1	213	7,227	33.9
	第 2 外 国 語	ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ	30	969	32.3	30	973	32.4
		フランス語初級Ⅰ・Ⅱ	19	622	32.7	19	624	32.8
		ロシア語初級Ⅰ・Ⅱ	7	54	7.7	7	54	7.7
		中国語初級Ⅰ・Ⅱ	26	1087	41.8	26	1,109	42.7
		朝鮮語初級Ⅰ・Ⅱ	1	29	29.0	1	29	29.0
		スペイン語初級Ⅰ・Ⅱ	2	43	21.5	2	43	21.5
		イタリア語初級Ⅰ・Ⅱ	1	18	18.0	1	21	21.0
		合計	86	2,822	32.8	86	2,853	33.2
	選 択 外 国 語	英語選択	4	157	39.3	5	163	32.6
		ドイツ語初級Ⅰ・Ⅱ選択	2	42	21.0	2	42	21.0
		フランス語初級Ⅰ・Ⅱ選択	1	36	36.0	1	35	35.0
		ロシア語初級Ⅰ・Ⅱ選択	1	3	3.0	1	3	3.0
		中国語初級Ⅰ・Ⅱ選択	1	52	52.0	1	51	51.0
		ラテン語初級Ⅰ・Ⅱ選択	1	26	26.0	1	17	17.0
		ギリシャ語初級Ⅰ・Ⅱ選択	1	18	18.0	1	7	7.0
		合計	11	334	30.4	12	318	26.5
	グ ロ ー バ ル 理 解	国際コミュニケーション演習（ドイツ語）	6	224	37.3	6	198	33.0
		地域言語文化演習（ドイツ語）	25	730	29.2	20	524	26.2
		国際コミュニケーション演習（フランス語）	19	622	32.7	14	480	34.3
		地域言語文化演習（フランス語）	-	-	-	-	-	-
		国際コミュニケーション演習（ロシア語）	3	32	10.7	2	15	7.5
		地域言語文化演習（ロシア語）	2	23	11.5	2	22	11.0
		国際コミュニケーション演習（中国語）	26	1138	43.8	19	850	44.7
		国際コミュニケーション演習（朝鮮語）	1	29	29.0	1	30	30.0
		国際コミュニケーション演習（スペイン語）	2	39	19.5	-	-	-
		地域言語文化演習（スペイン語）	-	-	-	2	39	19.5
		国際コミュニケーション演習（イタリア語）	1	18	18.0	-	-	-
		地域言語文化演習（イタリア語）	-	-	-	1	18	18.0
		合計	85	2,855	33.6	67	2,176	32.5

(2) 2025 年度に開講した第 1 外国語、第 2 外国語、選択外国語、グローバル理解 (2 年次)

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
2 年 次	第 1 外 国 語	総合英語(Project-based English)	14	403	28.8	9	250	27.8
		総合英語(Content-based English)	9	302	33.6	5	154	30.8
		総合英語(Liberal Arts & Sciences)	35	1,671	47.7	33	1,302	39.5
		総合英語(Performance Workshop)	20	609	30.5	15	340	22.7
		総合英語(Academic Skills)	11	348	31.6	5	165	33.0
		合計	89	3,333	37.4	67	2,211	33.0
	第 2 外 国 語	ドイツ語中級	33	1,079	32.7	6	171	28.5
		フランス語中級	22	719	32.7	6	219	36.5
		ロシア語中級	7	71	10.1	2	17	8.5
		中国語中級	23	1,048	45.6	6	285	47.5
		朝鮮語中級	2	29	14.5	1	11	11.0
		スペイン語中級	3	89	29.7	1	21	21.0
		イタリア語中級	2	15	7.5	1	15	15.0
		合計	92	3,050	33.2	23	739	32.1
	選 択 外 国 語	英語選択	5	175	35.0	3	99	33.0
		ドイツ語中級選択	2	51	25.5	1	31	31.0
		フランス語中級選択	1	41	41.0	1	22	22.0
		ロシア語中級選択	1	2	2.0	1	2	2.0
		中国語中級選択	1	38	38.0	1	24	24.0
		ラテン語中級III・IV選択	1	13	13.0	1	8	8.0
		ギリシャ語中級III・IV選択	1	3	3.0	1	3	3.0
		合計	12	323	26.9	9	189	21.0
	グ ロ ー バ ル 理 解	国際コミュニケーション演習 (ドイツ語)	-	-	-	1	20	20.0
		地域言語文化演習 (ドイツ語)	7	207	29.6	1	30	30.0
		国際コミュニケーション演習 (フランス語)	2	44	22.0	2	44	22.0
		地域言語文化演習 (フランス語)	2	31	15.5	-	-	-
		国際コミュニケーション演習 (ロシア語)	1	6	6.0	-	-	-
		地域言語文化演習 (ロシア語)	1	4	4.0	1	3	3.0
		国際コミュニケーション演習 (中国語)	2	91	45.5	1	40	40.0
		地域言語文化演習 (中国語)	-	-	-	-	-	-
		地域言語文化演習 (朝鮮語)	1	10	10.0	1	10	-
		国際コミュニケーション演習 (スペイン語)	1	18	18.0	-	-	-
		地域言語文化演習 (スペイン語)	-	-	-	1	19	19.0
		国際コミュニケーション演習 (イタリア語)	1	15	15.0	-	-	-
		地域言語文化演習 (イタリア語)	-	-	-	1	16	16.0
		合計	18	426	23.7	9	182	20.2
	総計		591	20,300	34.3	486	15,895	32.7

(表3) 2025 年度に開講した実践英語 (e-learning)

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
1 年次	第1外国語	実践英語 (e-learning入門)	-	-	-	1	3,585	3585.0
2 年次		実践英語 (e-learning応用)	1	3,575	3575.0	-	-	-

(表4) 2025 年度に開講した第二外国語 (上級)

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
2 年次	上級外国語	ドイツ語上級	1	3	3.0	1	5	5.0
		フランス語上級	1	3	3.0	1	3	3.0
		ロシア語上級	1	3	3.0	1	1	1.0
		中国語上級	1	2	2.0	1	2	2.0
		合計	4	11	2.8	4	11	2.8

(表5) 2025 年度に開講したグローバル理解 (特別外国語)

配当 年次	科目 群	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
指定なし	グローバル理解 (特別外国語演習)	特別外国語演習 (広東語) I	1	14	14.0	-	-	-
		特別外国語演習 (モンゴル語) I	1	3	3.0	-	-	-
		特別外国語演習 (インドネシア語) I	1	17	17.0	-	-	-
		特別外国語演習 (ウルドゥー語) I	1	4	4.0	-	-	-
		特別外国語演習 (トルコ語) I	-	-	-	1	39	39.0
		特別外国語演習 (スウェーデン語) I・II	-	-	-	1	38	38.0
		特別外国語演習 (ポルトガル語) I・II	1	16	16.0	1	6	6.0
		特別外国語演習 (タイ語) I	1	17	-	-	-	-
		特別外国語演習 (ベトナム語) I	1	8	8	-	-	-
		特別外国語演習 (ビルマ語) I	1	3	3	-	-	-
		特別外国語演習 (ヒンディー語) I	-	-	-	1	21	21.0
		特別外国語演習 (ハンガリー語) I	-	-	-	1	20	20.0
		特別外国語演習 (デンマーク語) I・II	1	18	0	-	-	-
		合計	9	100	11.1	5	124	24.8

(表6) 2025 年度に開講した日本語科目

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
1 ・ 2 年 次	国 語 外	総合日本語	2	33	16.5	1	19	19.0
		専門日本語	2	28	14.0	2	35	17.5
	バグ 解ルロ 理	多文化コミュニケーション（日本語）	3	32	10.7	3	31	10.3
合計			7	93	13.3	6	85	14.2

(表7) 2025 年度に開講した高度国際性涵養教育科目

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
2 年 次 以 上	高 度 国 際 性 涵 養 教 育 科 目	ドイツ語初級Ⅰ（多言語学習用科目）	-	-	-	1	5	5.0
		フランス語初級Ⅰ（多言語学習用科目）	-	-	-	1	6	6.0
		ロシア語初級Ⅰ（多言語学習用科目）	-	-	-	1	5	5.0
		中国語初級Ⅰ（多言語学習用科目）	-	-	-	1	9	9.0
		ドイツ語言語文化演習（中級継続）	-	-	-	6	14	2.3
		フランス語言語文化演習（中級継続）	-	-	-	5	6	1.2
		ロシア語言語文化演習（中級継続）	-	-	-	2	1	0.5
3 年 次 以 上	高 度 国 際 性 涵 養 教 育 科 目	ドイツ語初級Ⅱ（多言語学習用科目）	1	3	3.0	-	-	-
		フランス語初級Ⅱ（多言語学習用科目）	1	3	3.0	-	-	-
		ロシア語初級Ⅱ（多言語学習用科目）	1	3	3.0	-	-	-
		中国語初級Ⅱ（多言語学習用科目）	1	1	1.0	-	-	-
		ドイツ語言語文化演習（中級継続）	3	0	0.0	-	-	-
		フランス語言語文化演習（中級継続）	2	1	0.5	-	-	-
		ロシア語言語文化演習（中級継続）	1	0	0.0	-	-	-
		合計	10	11	1.1	17	46	2.7

(表8) 2025 年度に開講した再履修者向けクラス

配当 年次	科目 区分	科目名	春～夏学期			秋～冬学期		
			開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数	開講 クラス数	受講者数	クラス 平均人数
1 年次	第 2 外 国 語	ドイツ語初級Ⅰ	-	-	-	2	59	29.5
		フランス語初級Ⅰ	-	-	-	1	30	30.0
		ロシア語初級Ⅰ	-	-	-	1	0	0.0
		中国語初級Ⅰ	-	-	-	1	48	48.0
	グローバル コミュニケーション	国際コミュニケーション演習（フランス語）	-	-	-	1	7	7.0
2 年次	第 2 外 国 語	実践英語（e-learning入門・応用）	1	314	314.0	1	717	717.0
		ドイツ語初級Ⅱ	2	67	33.5	1	15	15.0
		フランス語初級Ⅱ	1	44	44.0	-	-	-
		ロシア語初級Ⅱ	1	1	1.0	-	-	-
		中国語初級Ⅱ	1	66	66.0	-	-	-
		ドイツ語中級	-	-	-	2	92	46.0
		フランス語中級	-	-	-	-	-	-
		ロシア語中級	-	-	-	-	-	-
		中国語中級	-	-	-	-	-	-
		グ ロ ー バ ル 理 解	国際コミュニケーション演習（ドイツ語）	1	1	1.0	2	14
	国際コミュニケーション演習（フランス語）		-	-	-	2	7	3.5
	国際コミュニケーション演習（ロシア語）		-	-	-	1	2	2.0
	地域言語文化演習（ドイツ語）		2	58	-	2	28	14.0
	地域言語文化演習（フランス語）		-	-	-	1	2	2.0
			合計	9	551	61.2	18	1,021

(2) TOEFL ITP

1. 概要

マルチリンガル教育センターは、「実践英語(e-learning)」科目の期末テストとして TOEFL ITP を用いている。同科目は、原則として 1 年次生および 2 年次生の全員が履修する必修科目であり、TOEFL ITP の受験者も正規生だけで年間約 6800 人に達する。

2. 2025年度の実施日程

春～夏学期／正規日程： 7月5日（土）、6日（日）／追試： 7月17日（木）、22日（火）

秋～冬学期／正規日程： 12月6日（土）、7日（日）／追試： 12月18日（木）、23日（火）

在宅試験（TOEFL ITP digital を利用したリモート試験）：1月16日（金）

3. 結果

1) 概観

2025 年度入学者 1 年次の平均点は 509.99 点と前年度入学者より 1.42 点上昇した。24 年度入学者 2 年次の平均点は、1 年次受験時より 10.91 点上昇して 519.48 点となり、学年平均として過去最高となった。本学における外国語能力の基準値とする 550 点以上取得者の割合は 2 年次受験者では 18.28% となり、昨年度に比べて僅かに下がってはいるが、引き続き高い水準を維持しており、1 年次から 2 年次への点数の伸びと合わせて、e-learning を含めた現在のカリキュラム下での英語教育が一定の成果をあげていると言える。

2 年次受験者

令和 7 年 3239 人中 550 点以上が 592 18.28%

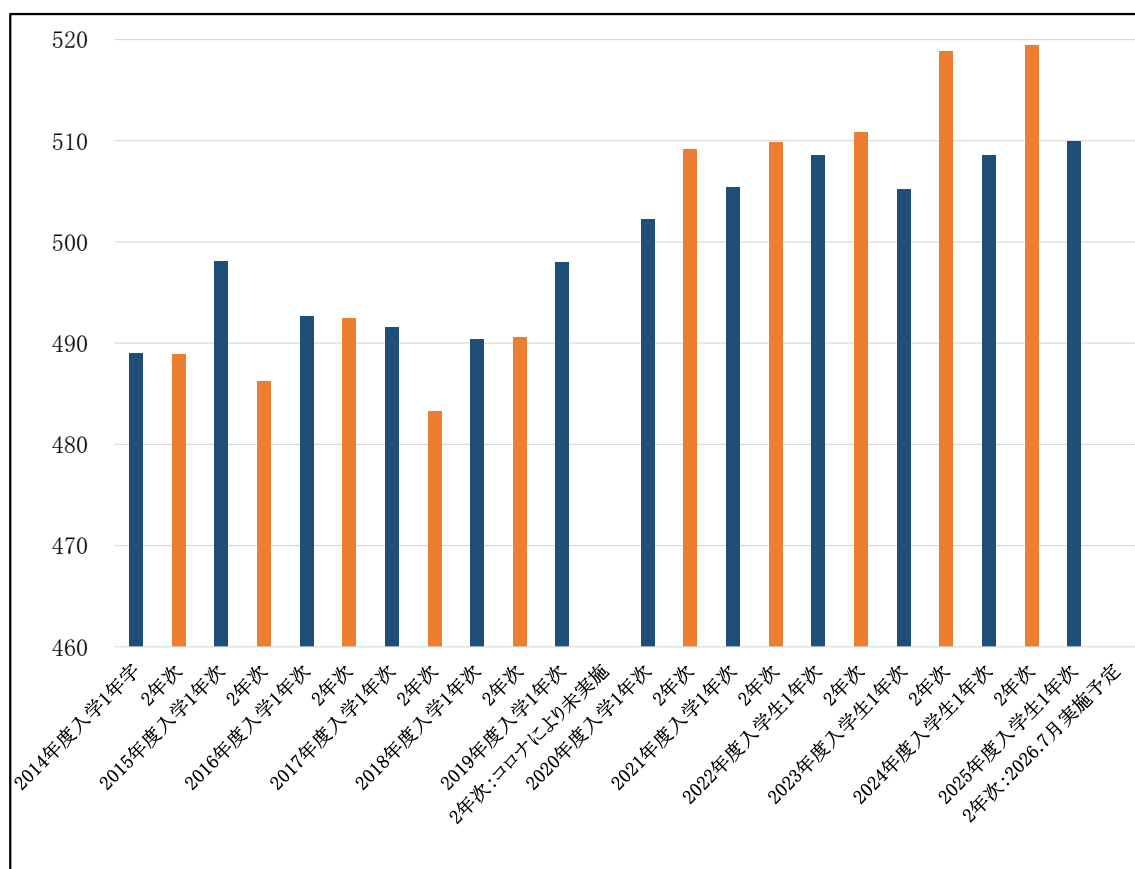
令和 6 年 3251 人中 550 点以上が 645 19.84%

2) データ

TOEFL ITP 全学平均点の推移

TOEFL ITP 全学部平均点推移 2014年度入学者～2025年度入学者

2014年度入学生		2015年度入学生		2016年度入学生		2017年度入学生	
1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次
489.02	488.87	498.03	486.20	492.62	492.50	491.57	483.25
2018年度入学生		2019年度入学生		2020年度入学生		2021年度入学生	
1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次
490.37	490.55	497.94	コロナのため 実施せず	502.26	509.17	505.39	509.81
2022年度入学生		2023年度入学生		2024年度入学生		2025年度入学生	
1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次	1年次	2年次
508.58	510.80	505.15	518.88	508.57	519.48	509.99	2026.7月 実施予定



(3) ESAP 教材作成チーム

語彙学習教材開発

前年度の予算措置の関係でプロジェクトメンバーに入れ替わりがあったため、まず、新メンバーにプロジェクトの概要を理解してもらうことから活動を開始した。具体的には、これまで開発・試用してきた基礎科学・工学系の単語・複合語教材の内容を確認するとともに、次の段階の教材開発に向けて昨年度作成した語彙リストの確認を行った。

そのうえで、より専門性の高い語彙リストのうち、ある程度の絞り込みが完了していたコンピュータサイエンス系および医学系のリストを検討し、今年度は医学系の語彙リストをもとに教材開発を進めた。

これと並行して、カリキュラム開発オフィスから要望のあった、メディア授業の代替として利用可能な自主学習教材の開発についても検討を開始した。目標は、これまでに開発した語彙教材および語彙素材を活用し、CLE 上で利用可能な、一回分の授業を代替できる分量の自主学習教材を複数作成することである。さらに将来的には、カリキュラムに基づき、複数回の授業にまたがって利用できる教材へと発展させることを目指している。

また、昨今の生成 AI の急速な発達により、教材開発への活用可能性が高まっていることから、生成 AI をどのように教材開発に援用できるかについても検討を行った。あわせて、実際に生成 AI を用いて英語学習教材を作成する試みを開始した。

(4) OU マルチリンガルプラザ

1. 概要

OU マルチリンガルプラザは、英語をはじめとする多言語・および外国語としての日本語の学習を対象に、課外での自律的な学びを支援する施設として、令和2年4月に豊中キャンパス・サイバーメディアセンター（現・D3 センター）豊中教育研究棟4階に開室された。また、令和3年度には、吹田キャンパス IC ホール2階に分室が開室された。

OU マルチリンガルプラザでは以下のようなサービスを実施している。

- ・自習スペースとしての施設の開放
- ・大阪大学で専攻語として学べる 25 言語の参考図書の配架
- ・言語学習ポートフォリオの配布
- ・会話練習パートナーとのセッション（英語・日本語・中国語・韓国語 1セッション各 20 分）
- ・言語学習アドバイジング
- ・留学生等を対象とした日本語チュータリング
- ・TA/TF の企画・進行による、言語学習および多文化理解に関するイベント・ワークショップの開催
- ・マルチリンガル教育センター派遣教員による、英語学習に関するワークショップ

また、ウェブサイト・X・Instagram・KOAN/MyHandai アプリの掲示板および LINE のオープンチャットで、イベント・ワークショップや会話練習の告知および利用者の募集を行うほか、多言語学習や多文化理解に関する情報を発信した。

2. 令和7年度の運営状況

令和7年度は、授業実施日に準じ運営を行った。ワークショップやイベントは基本的にすべて施設内での対面方式で実施した。ただし、会話練習では、参加者の希望によりオンラインでのセッションも実施したほか、日本語チュータリングはオンラインのみで実施した。

豊中と吹田のそれぞれの施設において実施したサポートは以下の通りである。

- ・豊中 月一金 10:00-15:00

①英語、日本語、中国語、韓国語の会話練習

②日本語学習アドバイジング

③日本語能力試験対策ワークショップ

④TA/TF 企画による多言語・多文化理解を促進するイベント・ワークショップ)

- ・世界の祝祭／・世界の鉄道／・世界の料理
- ・世界の都市伝説／・世界のお菓子

⑤TA/TF 企画による日本語グループ会話「日本語サロン」

⑥マルチリンガル教育センター派遣教員による、英語学習に関するワークショップ

- ・映画『24～世界を変えた男～』鑑賞会

⑦他部局主催の言語学習に関するワークショップの開催場所提供

・吹田 金 10:00-13:30

①日本語を学ぶ留学生および研究グループ会話「日本語サロン」の実施

・オンライン

① 留学生等を対象としたライティング相談「日本語チュータリング」の実施

② 国立大学フェスタへの参加

- ・世界の鉄道に乗ってみよう！（TA/TF 企画によるイベント）
- ・日本語学習支援ワークショップ



写真 1: 25 言語の参考図書



写真 2: TA/TF 企画による多言語・多文化理解

イベント（「世界のお菓子」）



写真3: 日本語学習ワークショップ



写真4: 手話カフェ

令和7年度のサービス利用者数は、延べ824名（春夏学期486名、秋冬学期340名）であった。過去の年度も含めた、利用者の利用目的別内訳は図1の通りである。

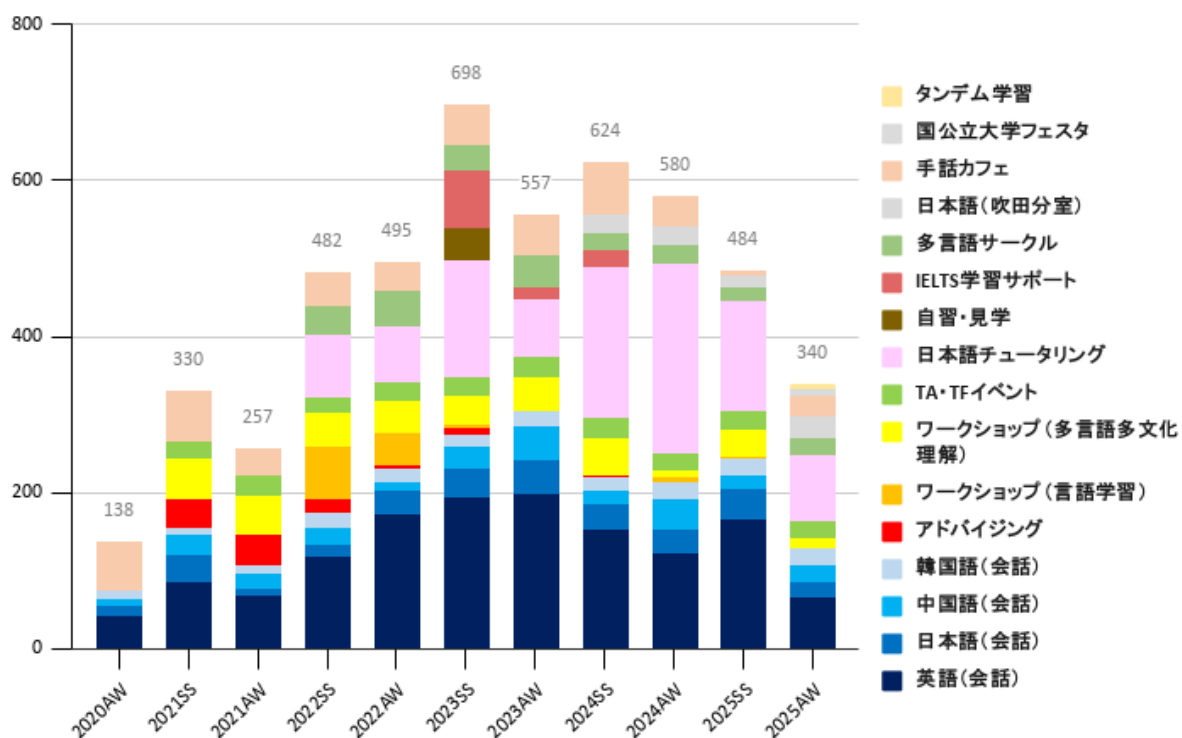


図1. 来室者の利用目的別内訳

会話練習においては、英語運用能力の向上が全学的な課題であること、そして英語会話練習へのニーズが高いことから、これまで、年度ごとに少しずつ英語のセッション数を増やしてきた。令和7年度は、春夏・秋冬学期ともに、週14セッション実施した。春夏学期は9割超の稼働率となり、前年度よりも多くの利用者がみられたが、秋冬学期は予約数が減少し空きセッションがみられた。秋冬学期については、英語会話練習のみならず、全体的にどのサポートに関しても利用者数の減少が顕著であった。これまでの年度・学期と同様に広報を行っていたが、減少の理由については不明である。

対面およびZoomによるハイブリッド形式でのサポートを実施した。言語・参加形態別の参加者数は次頁、図2、図3の通りである。

図が示すように、対面での利用者は約7割であった。一方、会話練習では、利用者の希望により、豊中キャンパスの施設内での対面セッションもしくはZoomでのオンラインセッションを実施しているが、他キャンパスからのオンラインでの利用者が一定数の割合みられ、ハイブリッド形式でのサポートの意義があったといえる。

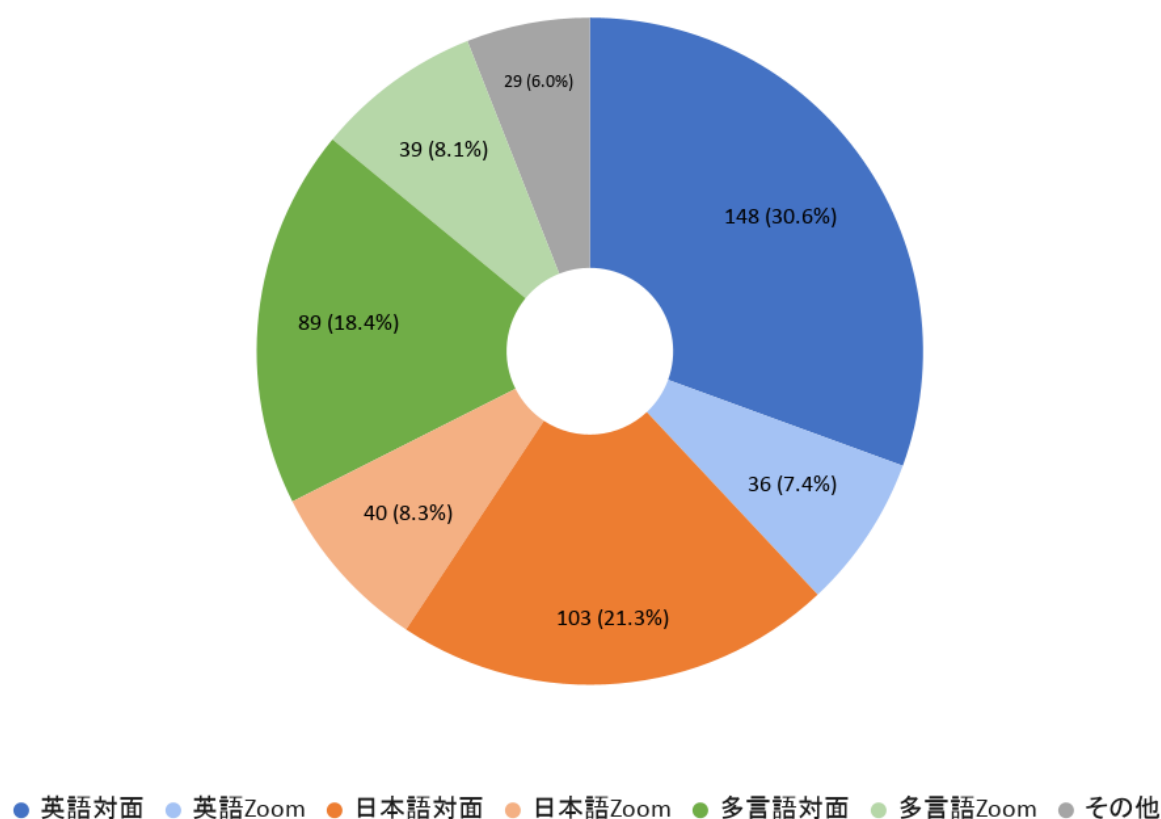


図2. 令和7年度春夏学期の言語・参加形態別利用者数

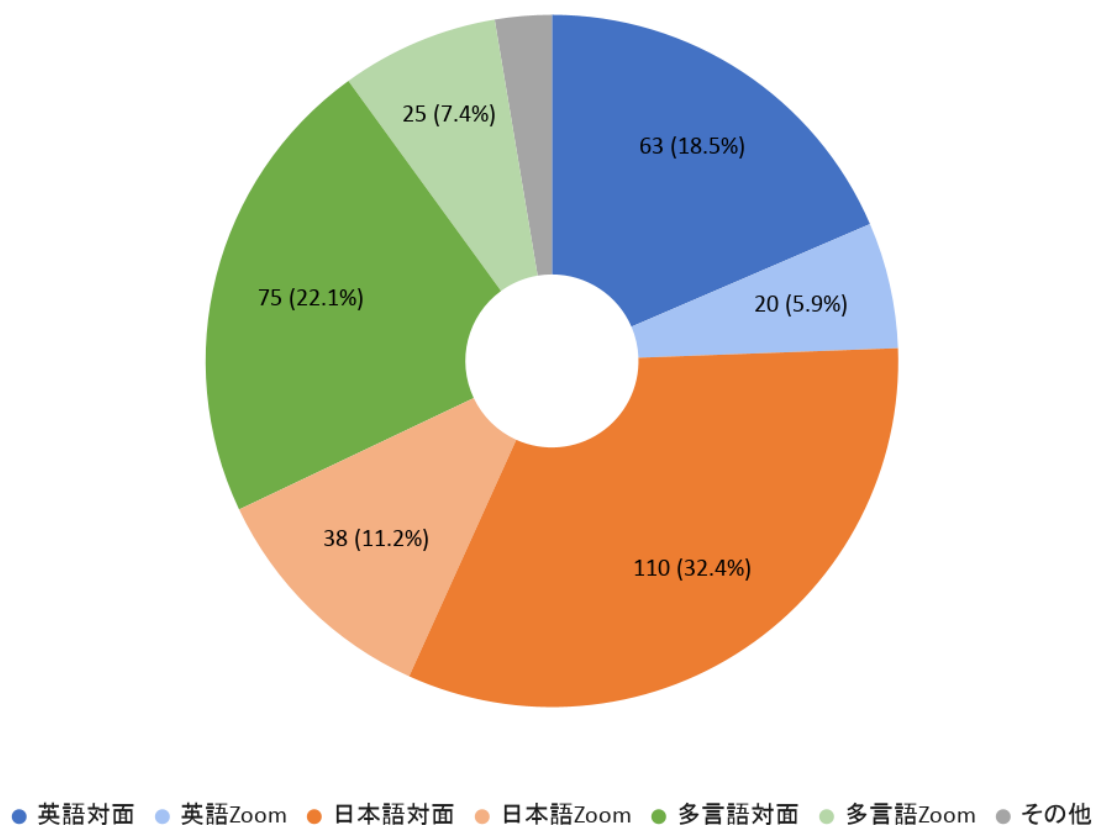


図 3. 令和 5 年度秋冬学期の言語・参加形態別利用者数

イベント・ワークショップや会話練習などのプラザでのサポートについての告知には、KOAN/My Handai アプリの掲示板、X、Instagram のほか、LINE のオープンチャットを利用した。イベントや会話練習などの利用者に対するアンケートによると、イベントやワークショップについては、KOAN/My Handai アプリの掲示板で知ったと回答する参加者が多くみられたが、会話練習については、KOAN/My Handai アプリの掲示板のほか、オープンチャットで知ったと回答する参加者が半数ほどみられた。オープンチャットへの参加募集は、KOAN/My Handai の掲示板での、会話練習やイベントなどの告知の際にリンクを貼ることで行っているが、会話練習やイベントなどへの参加を通じて、新たなオープンチャット参加者を得られた。また、オープンチャットでは、会話練習の前日・当日キャンセルにより空いてしまったセッションの情報を発信しているが、これにより、当日でも空きセッションが新たな予約で埋まるようになり、会話練習の稼働率が大きく向上した。

3. 多言語学習支援ネットワークへの参加

現在、大阪大学内には、OU マルチリンガルプラザ以外にもさまざまな言語学習支援や多言語・多文化の交流促進のための取り組みが行われているが、それらの活動の趣旨や日時が重複していたり、それぞれの活動が個別で実施されていたりすることにより、活動の情報の共有がうまくなされていないという課題があった。そこで令和4年度に国際教育交流センター主導で「学習・学修支援、多言語・多文化交流促進に関する情報共有・意見交換会」が立ち上げられ、OU マルチリンガルプラザ運営スタッフもメンバーとして参加している。

令和7年度には、2回のミーティングがオンラインで開催され、各学習支援サービスの担当者が集い、意見と情報の交換が活発になされた。この時の情報をもとに、学内の言語学習支援サービスを総合的に案内するためのブックレットが作成され、学内に配布され、大阪大学内のデジタルサイネージ「O+PUS」にて広報動画が放映された。この取り組みについて、国際機構紀要に「大阪大学における課外の多言語多文化学習支援ネットワーク構築—複数部局間の協働による成果と今後の展望—」として報告した。次年度以降もこのネットワークを活かして、より有機的な言語学習支援に取り組む予定である。

(5) 各種FD

1. FD 講演

マルチリンガル教育センターの学習支援・社会共創開発オフィスではこれまでも「語学学習支援の強化」の一環として、FD 講演会を開催し、知見を深めてきた。しかし、近代の急速な生成 AI の台頭は、外国語学習における「アウトプット」や「評価」のあり方にパラダイムをもたらしている。こうした教育の変化に授業デザインをどのようにアップデートすべきかという課題に応えるために、FD 講演として AI 時代における外国語教育の再設計をテーマとした講演会を企画・実施した。

日時：2026 年 2 月 20 日（水） 13.30～15.00

会場：オンライン

演題：「AI 時代の外国語教育の再設計—歴史的考察と英語教育実践報告—」

講師：柳瀬陽介（京都大学 国際高等教育院／教授）

参加者：77 名